二〇一四年一月一七日

乳呑み児の分も買ひたる初神籤　さつき

白息の女人門址へ坂険し　なつき

一幅は東雲の富士床の春　よし子

二〇一四年一月一六日

凍星を過ぎるは夜間飛行の灯　雅流

毬のごと枝に膨らむ寒雀　三刀

二〇一四年一月一五日

蒼天へ高舞ふどんど煙かな　ぽんこ

紅の唇真一文字や初弓　菜々

二〇一四年一月一四日

混み合へる成人の日の写真館　あさこ

二〇一四年一月一三日

寺寒し素足の僧の小走りに　ぽんこ

二〇一四年一月一二日

袴着のをみな凛々しき弓始　はく子

禅寺の白砂の庭の淑気満つ　ひかり

二〇一四年一月一一日

初笑ひ繁昌亭へ詣でけり　かかし

毎日句会みのる選・二〇一四年一月一九日